

Logistics / Sales & Services

物流／販売・サービス段階での取り組み

POINT

- ① スバルロジスティクスでは完成車の共同輸送の拡大とコンテナ輸送の効率化を推進しています。
- ② 2005年より特約店の新車販売拠点で「接客品質向上プロジェクト」を実施しました。
- ③ 特約店と連携してバンパーを含めた再生部品・中古部品の回収を推進しています。

物流段階

■ (株)スバルロジスティクスの取り組み①

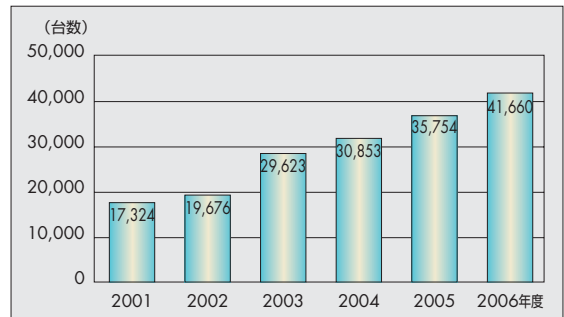
共同輸送取扱量を拡大して輸送の効率化を推進

完成車の輸送では、最適な輸送標準ルートの設定、モーダルシフトの推進、積載効率向上など輸送の効率化を進めることで環境負荷低減活動に貢献しています。また、スバルロジスティクスでは同業他社と完成車の共同輸送の取り組みを進め、2006年度の共同輸送取扱量（他社への委託台数と他社からの受託台数の合計）は、41,660台と前年度に比べ約17%拡大しました。

2006年度は「改正省エネルギー法」への対応として、デジタルコグラフやアイドリングストップ装置の装着を推進し、定期的

に協力会社から走行・燃費データを集約することでより精度の高いエネルギー消費量（含むCO₂排出量）を把握し、年間1%以上のエネルギー消費量原単位の低減を目指しています。

◆ 共同輸送取扱量の推移



■ (株)スバルロジスティクスの取り組み②

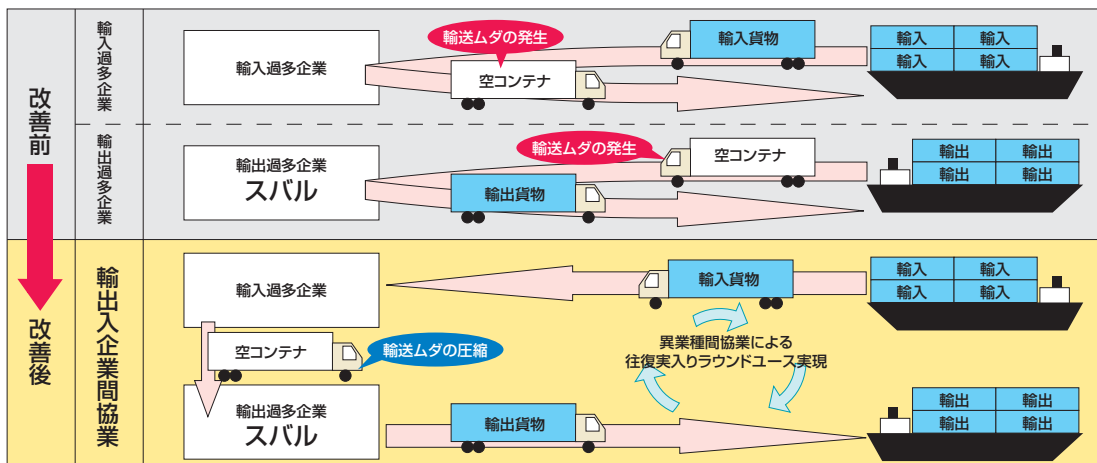
海上コンテナ輸送における環境負荷の低減

海上コンテナの輸送では輸送区間の往復実荷運行率を高め、輸送回数を減らすことで環境負荷の低減に貢献することができます。国際海上貨物を取り扱う企業は輸出過多企業、あるいは輸入過多企業に大別することができますが、各社の輸出入貨物量の不均衡により、荷積みあるいは荷降ろし地点から輸出入港間での海上コンテナ内陸輸送の片荷運行（＝片道空荷）

のムダが発生しています。

この各社個別の改善活動だけでは解決困難な課題を、輸出過多企業（当社）と輸入過多企業間での往復実荷の協業運行を推進することにより、協業企業間だけではなく輸送請負企業も含めたCO₂排出量の削減に取り組んでいます。2007年度は前年度に比べ約4%の輸送回数削減を見込んでおり、今後も協業輸送スキームを拡大する予定です。

◆ 輸入過多企業と輸出過多企業（当社）間での海上コンテナ協業運行による物流イメージ



販売・サービス段階

■スバル販売特約店での環境取り組み

「スバルエコアクション21」活動を継続

「クリーンな販売店」実現に向けて、お客さまや地域の皆さまと直接関わる全国のスバル特約店とともに、「スバルエコアクション21」と冠して環境保全の活動を継続しています。

2003年12月、まず各特約店のモデル拠点（店舗・工場）での「環境コンプライアンス総点検」開始を皮切りに、2005年からは点検の対象を全販売拠点へ拡大して、特約店の自主取り組みとして点検・改善活動を進めてきました。2006年3月末には、全拠点の現状確認を終え、なお改善が必要な拠点は2006年度も引き続いて対策を進めました。

一方、お客さま満足向上に向け、2005年度より2006年前半にかけて実施した「接客品質向上プロジェクト」で当社スタッフが特約店の全最新車販売店巡回を実施する中で、店舗・工場の廃棄物分別や保管状況等の確認を行い、販売・サービス環境の一層の美化に努めました。

特約店の環境マネジメント確立の動きとしてISO14001認証取得をみますと①新潟スバル自動車(株)が2005年の認証取得以後、2006年6月には新発田(しばた)店の認証を追加取得②同年11月には熊本スバル自動車(株)が新たに認証を取得しました。その結果、ISO14001認証取得のスバル特約店は6社(千葉スバル自動車(株)、青森スバル自動車(株)、富士スバル(株)、大阪スバル(株)・新潟スバル自動車(株)・熊本スバル自動車(株))となりました。

■再生部品・中古部品の取り扱い

スバル特約店と連携し再生部品・中古部品を回収

当社では国内のスバル販売特約店とともに再生部品（リビルト部品）や中古部品の取り扱いを行っています。再生部品については、関連する会社と協力し、2004年度よりエンジン・トランスミッション・ウォーターポンプの取り扱いを開始しています。

一方、中古部品につきましては、外装パネル・ランプ・ホイールなどの部品について中古部品ネットワークと提携し取り扱いを行っています。

◆再生部品の取り扱い品目

設定品目

エンジン・トランスミッション・CVT（無段変速機）・オルタネータ・スターター・ECU（エンジンコントロールボックス）・ウォーターポンプなど

■使用済みバンパーの回収

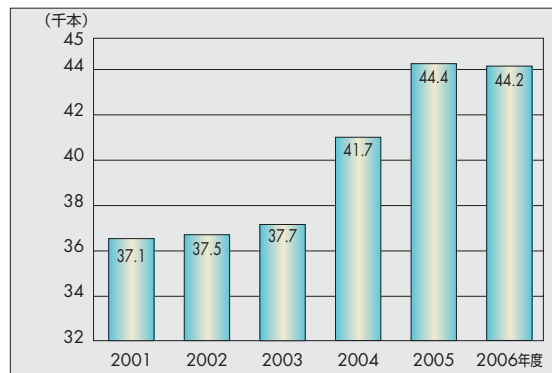
使用済みバンパーを各種部品にリサイクル

当社では、業界ガイドラインに先駆けて1973年から樹脂部品への材料表示を行ってきました。この取り組みは現在、使用済みバンパーを回収して自動車部品にリサイクルする活動に役立っております。2006年度、全国から回収した使用済みバンパーの本数は、44,242本（前年度実績44,373本 99.7%）でした。回収したバンパーは下表のように、スバルの各種部品にリサイクルし活用しています。

◆使用済みバンパーの車種別部品活用例

| 車種 | 部品 |
|-----------|---------------------------|
| R1、R2、プレオ | ユニバーサルジョイントカバー アンダーカバー |
| レガシィ | アンダースポイラー バッテリーパン |

◆使用済みバンパーの回収本数の推移



アウトバック 2.5i S-style LIMITED